

ミニボーグ67FL システムチャート①

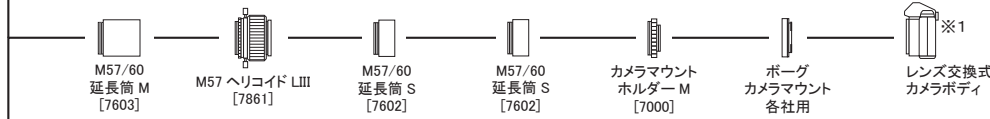


ミニボーグ 67FL 対物レンズ
WH/BK [2567/2568]

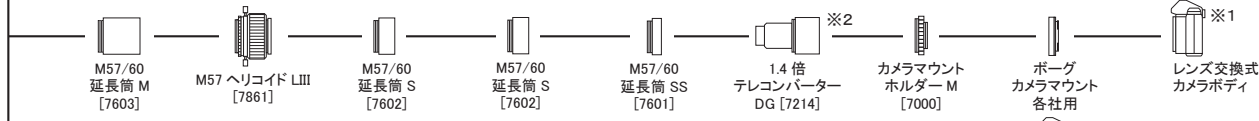
※1 ミラーレス一眼カメラを使用する場合は、2 ページの図の通りに [7921] や [7922] などをご使用ください。これらを使用しないと、ピントが合わない、補正レンズの性能が出ないなど弊害があります。

※2 1.4 倍テレコンバーター DG [7214] はレンズ径が小さいため、若干光量のロスが生じます。光量をフルに生かすには、レンズ径の大きい 1.4 倍テレコンバーター GR [7215] をご使用ください。

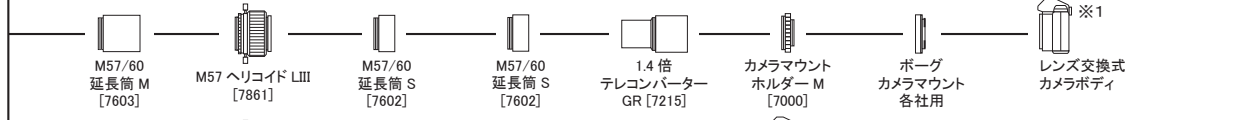
① 直焦点撮影をする場合



② 1.4 倍テレコンバーター DG [7214] を併用して撮影する場合



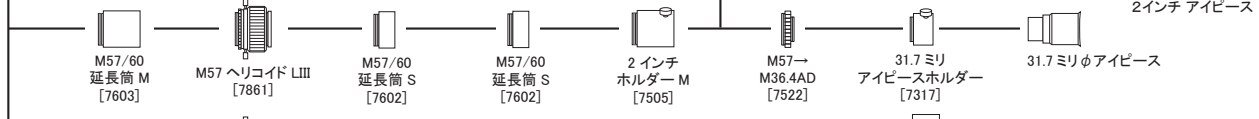
③ 1.4 倍テレコンバーター GR [7215] を併用して撮影する場合



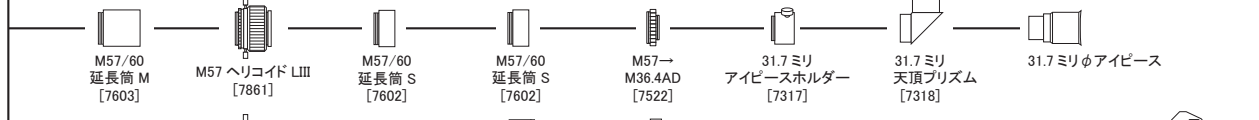
④ マルチフラットナー 1.08xDG [7108] を併用して撮影する場合



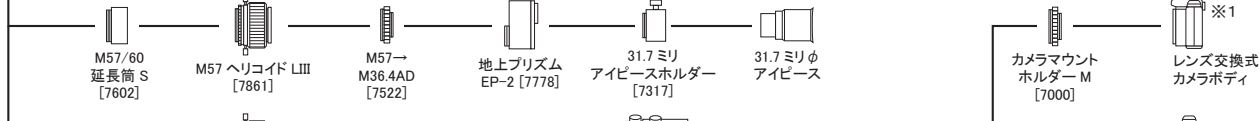
① 31.7ミリφアイピースで天体を見る場合（直視）



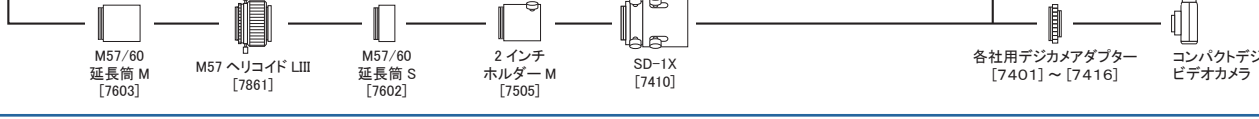
② 31.7ミリφアイピースで天体を見る場合（天頂プリズム使用）



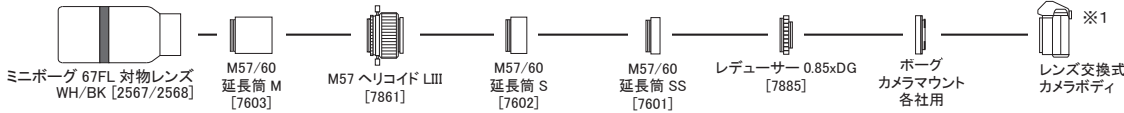
⑥ 地上プリズム EP-2 [7778] を併用した地上望遠鏡の組み合わせ



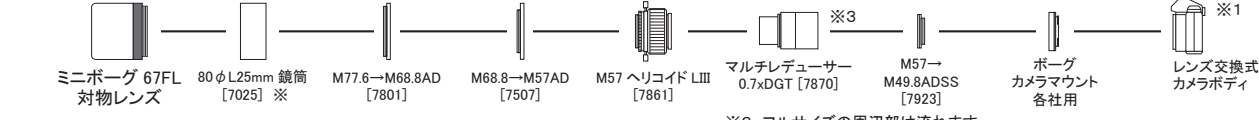
⑦ 拡大撮影をする場合



⑧ レデューサー 0.8xDG [7885] を併用して撮影する場合



⑧ マルチレデューサー 0.7xDGT [7870] を併用して撮影する場合



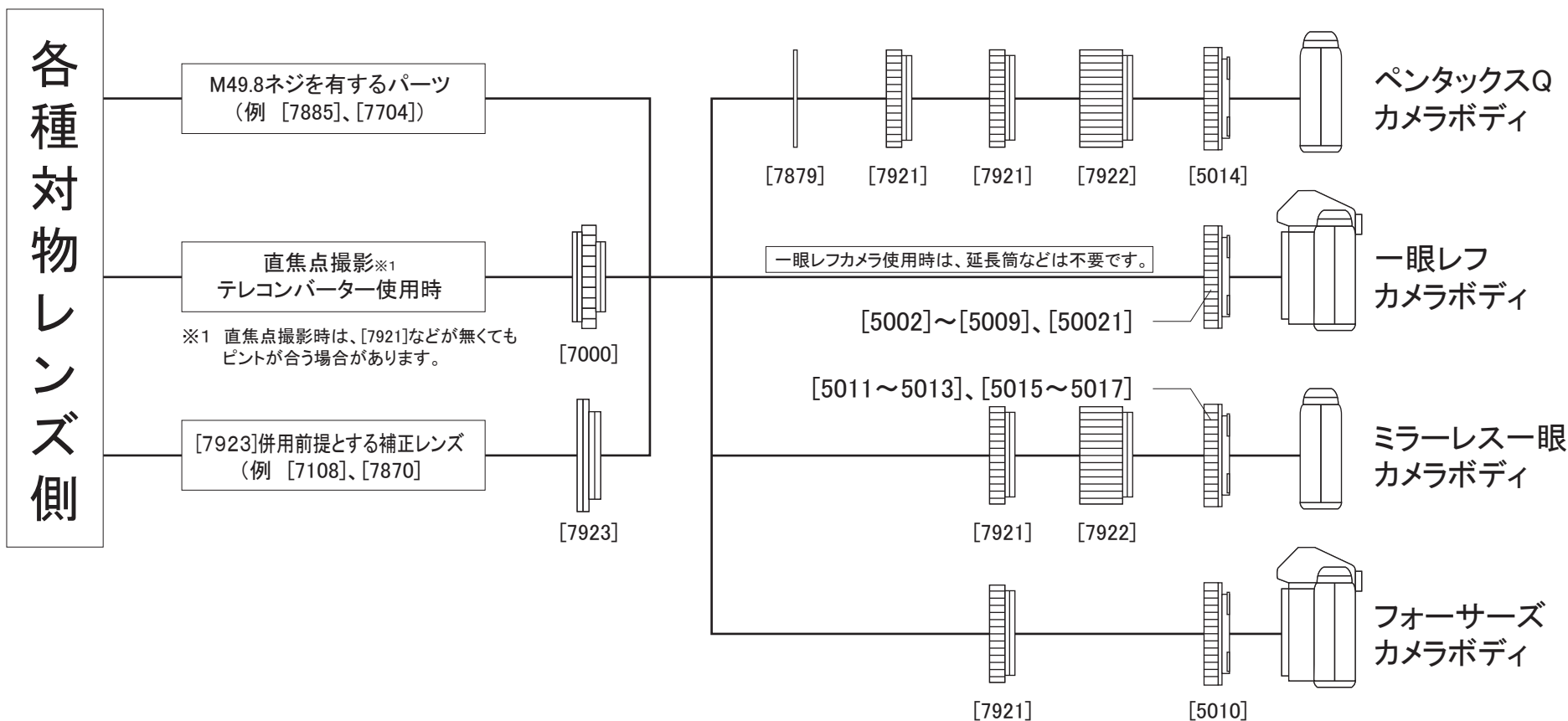
ミニボーグ 67FL 対物レンズのラッパ部分は、この組み合わせでは使用しません。

※3 フルサイズの周辺部は流れます。



各種カメラ別組み合わせ例

ミラーレス一眼カメラを使用する場合は、フランジバック調整用の延長筒を併用します。
 これらの延長筒が無いと、テレコンバーターやレデューサーなどの補正レンズを使用する場合に、本来の性能が出なくなります。
 直焦点撮影の場合は延長筒なしでも



最終更新日 2013/11/29